



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日

1991. 11 . 19

累計 No 246

当年 No 21

会長／山上 茂 夫

幹事／堀 川 正 幸

SAA／味 方 義 一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 地域社会を理解しよう「三条市の台所事情」

三条市議会総務常任副委員長 久住久俊殿

出 席： 本日の出席 53名中40名

先週の出席率 53名中49名 92.45%

先週のメイクアップ： 11月13日 三条RCへ 米山忠俊君 本間建雄美君

18日 三条南RCへ 加藤 実君 吉川吉彦君 外山晴一君

佐藤啓策君 山本 充君

ビジター： 三附RCより 坂田亮一君

三条RCより 渋谷健一君 大谷幸平君 山本福七君 五十嵐総一君

小林敬典君 加藤征男君

三条南RCより 横山準司君 馬場信彦君 吉田秀治君

会長挨拶： 山上茂夫

本日は見附クラブから坂田さん（前分区代理さん）お出で下さいまして有難うございました。

三条クラブから山本さん、渋谷さん、五十嵐さん、加藤さん、五十嵐さん、大谷さん、小林さんの7名様、南クラブから横山さん、吉田さん、馬場さんの3名様のゲストにお越し戴き有難うございました。

また今日はゲストスピーカーと致しまして、三条市議会総務常任副委員長の久住久俊さんをお迎えして「三条市の台所事情」と言うお話を承ることになっております。当北クラブの台所事情もお話しなければならないかなあ？ とも思いますが、先週御挨拶を一寸長くした為、ロータリー財団委員長の笹原さんのお話を途中で割愛する様な結果になり申し訳なく思っております。そこで今回はロータリー財団の事に一寸触れて御挨拶としたいと思います。

今日お手許にお配りした週報の中に、先回お話をし残した内容が、笹原委員長により詳しく紹介されておりますので御参照戴きたいと思ひます。これによりロータリー財団がどのような活動をして

いるのかよくお判り頂けると思いますので、ロータリー財団に御協力をお願い致します。

今年はロータリー財団75周年ですから「各クラブは財団に協力して欲しい」とガバナーから、特に就任時に強く要請されています。ガバナーは1日100円でよいから毎日協力して欲しいと言われておりましたが、北クラブは何も取り組みをしておりません。できれば月々1,000円ずつ、これから積み立てをお願いしたい。あらためて会長から提案をさせて戴きたいと思います。

仮に財団の寄金をふやして戴く為にはポールハリスフェローをふやして欲しい、準フェローも増やして欲しい。現在日本ではポールハリスフェローが59,502人（6月末）、準フェロー38,040人、因みに米国では172,857人のポールハリスフェローが生まれている相です。北クラブでもポールハリスフェローが沢山出れば、その財源で青少年の健全育成にもつながる奉仕ができますし、財団そのものがロータリーの奉仕そのものと言ってもよい位、いろいろな取り組みを行っております。

因みに今年度は287名の学生さんがこの資金で海外派遣できましたし、また海外から33名の学生を受け入れております。今まで派遣学生の合計は32,791名であります。また、今度シェア方式が採用され運営されていたファンドが60%は其の地区のプランに充当され、40%は国際資金として使われる様に変更されました。

また、学生派遣も、従来1年だけであったものが3ヶ月、6ヶ月、1年、2年、3年と5種類に分けられ、その人の条件で選択できるメリットも生まれました。皆さまの絶大な御協力をお願い致します。

それから今日はゲストも沢山お出で頂いておりますが、北クラブの9月は90.92%の出席率で三条の三クラブで最低であります。出席委員長に変わしまして会場にあふれんばかりの御出席をお願いするところであります。

さて、話は変わりますが労働省では財団法人雇用情報センターに依頼し、人材育成と確保、定着について調べた資料がありますが、中小企業側からみた「労働力不足の理由」は次の様です。

- 1、その地域の景気がよい
- 2、会社の良さが理解されない（P、R下手）
- 3、週休2日が不十分
- 4、人材が少ない（その地域で）
- 5、カッコ良さにかける
- 6、労働時間が長く、残業が多い
- 7、福利厚生が不十分
- 8、3Kである
- 9、会社の知名度が低い
- 10、給料が低い……であります。

また「会社の魅力は何か」に対しては

- 1、会社に成長力があること
- 2、転勤がないこと
- 3、通勤に便利なこと
- 4、知名度が高いこと
- 5、環境がよいこと（職場と人間環境）
- 6、若者が多いこと
- 7、人材育成に積極的であること
- 8、技能を身につけられる
- 9、週休2日
- 10、仕事が安全である……などです。

また最近看護婦さんの職場についても言われておりますが、3Kではなく、8Kだ相です。

全国には三千三百余の自治体があるが、国は自治体個々の細かな要求をいちいち採り上げる姿勢にない。四全総に明記してあるように、三十万人程度の人口を擁する地方中核都市には、特別な配慮を用いると言っている。県央地域も、小さな自治体同士がハコ物の建設競争や優良企業の奪い合いをしているばかりでは時代に置いていかれるだろう。

県央広域合併を実現させ、行財政の効率的運営を図っていくことによってのみ、県央地域の生き残りが可能なのではあるまいか。そのために、微力を尽くして参る所存である。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

11月26日例会： 音楽とワインの夕べ

12月3日例会： クラブ年次総会